

三好市「旧東祖谷山村」の野鳥生息状況

鳥類班 (日本野鳥の会・徳島県支部)

東條 秀徳*

要旨： 三好市「旧東祖谷山村」における2005年12月～2006年11月の観察で、森林や溪流の豊かな自然環境を示唆する種であるクマタカやヤマセミなど12目32科85種の野鳥を記録した。生息環境で分けると、山野の鳥が74種 (87%) と大半を占めており、水鳥あるいは水辺の鳥は11種 (13%) と少数であった。徳島県版レッドデータブック記載種では、ミゾゴイ、オシドリ、ジュウイチ、ヨタカ、カヤクグリ、ホシガラスなど18種が記録された。県内では記録の少なかった野生種種のソウシチョウが剣山周辺で記録され、類似環境に生息する野鳥との競合が危惧される。野生獣類もニホンジカなど7種を確認した。ヒトの生活にみちかな野鳥であるスズメは確認されなかった。

キーワード： 東祖谷、剣山、祖谷川、野鳥、ソウシチョウ

1. はじめに

三好市「旧東祖谷山村」(以下旧村)は、徳島県の中央西部、東四国山地の中央に位置し、周囲を剣山、ジロウギユウ、三嶺、天狗塚、塔丸、矢筈山、鳥帽子山など徳島県を代表する高峰に取り囲まれた面積約228.6km²の地域である(写真1)。最高標高は、徳島県最高地点でもある剣山山頂の1954.7mで旧村の最東端に位置する。最低標高は、祖谷川下流の約420mで旧村の西に位置する。吉野川の支流である祖谷川が剣山に源流を發し、東から西へ地域を貫流し、その本支流の兩岸山腹に集落が散在している。旧村役場は、平成の大合併前の徳島県50市町村役場の中で最高標高となる約520mに位置している。統計によれば旧村面積の約94%が林野であり、人工林が53%、天然林が35%、草原が5%、その他1%となっている。人工林の樹種のほとんどはスギで旧村全域にわたり1200～1300mの高標高域まで植林されている。間伐等の管理は充分とはいえず、中折れ

や倒木も見られる。旧村南部の高知県境沿いと、旧村北部の矢筈山～鳥帽子山の概ね標高1300m以上には、県内では最大規模のスズタケブナ群落広がっている。またその下部にはクリミズナラ群落分布している。コナラ群落も谷川沿い斜面に散在分布している。高標高の三嶺から牛の背にかけての尾根にはコメツツジ群落が、落合峠から寒峰、土佐矢筈山周辺尾根にはササ群落が広がっている。所有



写真1 剣山から西方を望む

* 徳島市三軒屋町外24-77

形態では、旧村の国公有林比率は51%と県全体の17%に比して高率であり、これが県内では最大規模の天然林や鳥獣保護区の現存に関連しているものと思われる。村内各所の神社の杜は、周辺の山林と連続しており、大木も多く残っている。耕作地は集落周辺に散在するが、多くは斜面畑であり耕作放棄地も目立つ。水田耕作は落合地区の小面積で認めたのみであった。放牧場が^{さじき}棧敷峠と^{きょうばしら}京柱峠に開設されている。前者では現在も春～初秋に牛が放牧されているが、後者は過去10数年使用されていない。水域は祖谷川の本支流のみである。ほとんどが溪流だが、ダムや取水堰のため流量の少ない範囲が多く、また、河川や道路の工事による濁りをしばしば認めた。名頃ダム湖と松尾川ダム湖では貯水量が増加した時は水面が広がり、減少した時には堆砂の川原が広がっていた。

旧村内の鳥獣保護区等としては、東部に剣山山系鳥獣保護区(8330haの半分弱)と^{すげおいかけ}菅生蔭銃猟禁止区域(48ha)が設定されている。

野鳥の多くの種の生息には季節性があるため、調査期間は、2005年12月から2006年11月の約1年とした。観察範囲は旧村全域としたが、12月～3月までは積雪のため、高標高域の観察はほとんど実施できなかった。双眼鏡および望遠鏡で姿を、あるいは特徴的な鳴き声で確認した野鳥について、その種名と個体数を記録した。また、野鳥観察中に遭遇した野生哺乳類についても記録した。観察地を地名のみで表現することは困難であり、環境庁自然環境保全基礎調査用地図の、3次メッシュコードの下4桁を併記した(図1)。

2. 山地・森林の野鳥

旧村の特徴は、四国の屋根ともいえる剣山を代表とする高峰群であり、今回調査でも主要な観察範囲であった。

1) 剣山

剣山は、鳥獣大規模生息地として、国設鳥獣保護区および特別保護地区も設定されている徳島県を代

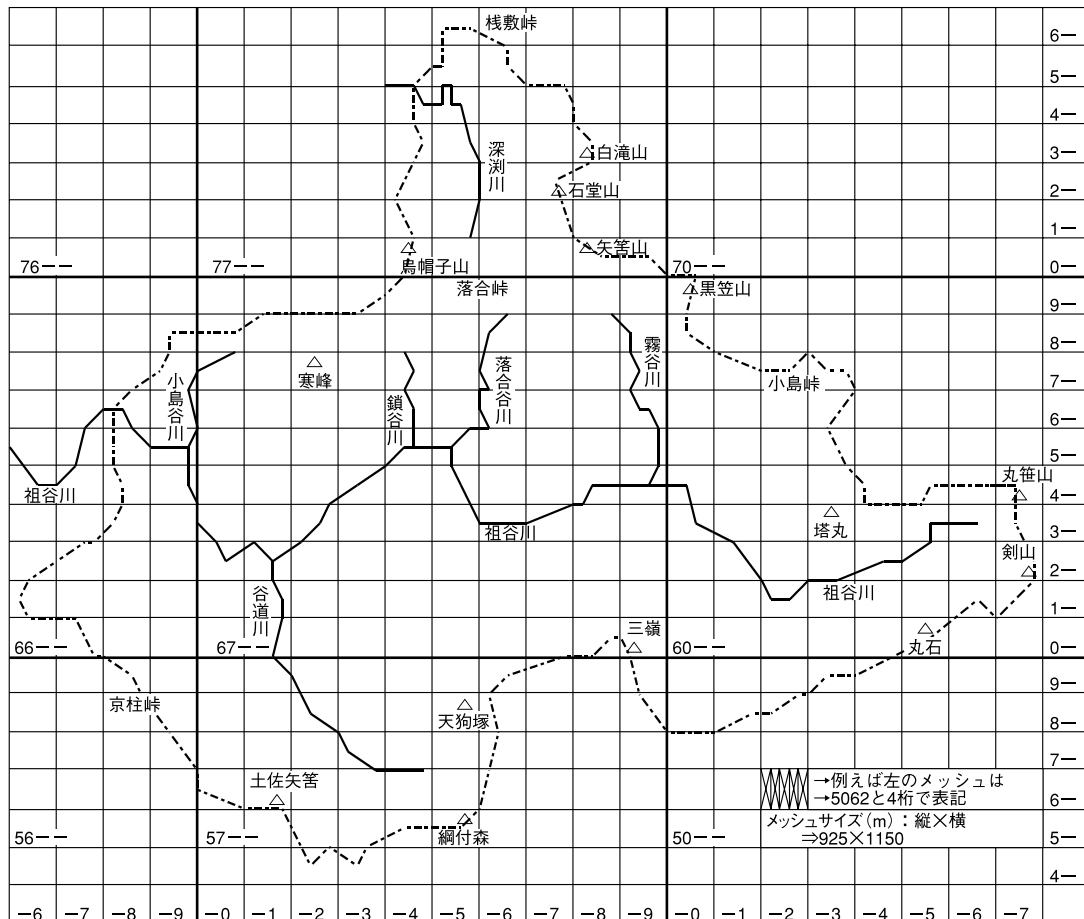


図1 旧「東祖谷山村」調査用メッシュ地図

表する山地森林生息性の野鳥生息環境である。今回調査では、旧一宇村境から見ノ越までの国道沿いと、見ノ越から剣山山頂・ジロウギユウ山頂までの登山路沿いで、4月～11月に観察したものを、剣山の記録として記載する。

国道沿いは、丸笹山の南西斜面で、まだ若い落葉広葉樹二次林となっている。この地域では、近年、初夏にコルリの生息が確認されるようになっており、今回調査でも頻繁に観察された。コルリは本州の中部以北に夏鳥として渡来繁殖することが知られ、四国では旅鳥とされている。巣や雛は未確認だが、剣山でも繁殖していることは間違いなからう。

見ノ越から標高1600m付近までは、冷温帯・落葉広葉樹林帯で、その下部の祖谷川南岸から連続するブナ、ミズナラ、カエデ類などの天然林となっている。この地域では、初夏、ミソサザイ(写真2)、ゴジュウカラなどの留鳥とともに、コマドリ(写真3)、ヤブサメ、キビタキ、オオルリ(写真4)などの夏鳥が加わり、繁殖行動が見られた。

また、主に本州中部以北に夏鳥として渡来し繁殖するとされるアカハラ(写真5)が、5月～8月の繁殖時期に頻繁に観察された。

標高1600～1700m前後の西島付近はウラジロミヤダケカンバが優勢な林となっている。クロジ(写真6)は本州中部以北で繁殖し、徳島県では主に低地の常緑広葉樹林に冬鳥として渡来する種だが、1997年7月に当地のダケカンバ林林床の笹藪でその繁殖が確認されている。現在、剣山が繁殖の南限地となっている。今回調査でも、8月に若鳥を確認した。また、この地域では、他の鳥の巣に卵を産み子育てを任せる「托卵」習性を特徴とするカッコウ類；ジュウイチ(写真7)、カッコウ(写真8)、ツツドリ、ホトトギスにもぎやかであった。

標高1800m付近から山頂直下まで亜寒帯・針葉樹林帯でシコクシラベの林が形成されている。この付近では、亜高山帯の針葉樹林・落葉広葉樹林を繁殖地とするルリビタキやメボソムシクイが観察され、過去には繁殖確認もされている。さらに、北海道の針葉樹林で繁殖し、四国には冬鳥として渡来するマヒワ(写真9)の小群が繁殖期に相当する6月に観察された。

剣山からジロウギユウまでの尾根と山頂部は、シコクザサを主植生とする風衝草原となっている。ビンズイは、主に本州中部以北の亜高山帯の笹原で繁殖し、徳島県では当地でしか繁殖記録がない種である。今回調査では繁殖は確認できなかったが、5月、7月と繁殖期の生息を確認した。

今回調査において、剣山で記録された種は前記を含め、次の50種である。

ハチクマ、トビ、ノスリ、サシバ、ヤマドリ、アオバト、ジュウイチ、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、アマツバメ、アカショウビン、アオゲラ、オオアカゲラ、コゲラ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ミソサザイ、カヤクグリ、コマドリ、コルリ、ルリビタキ、トラツグミ、マミジロ、アカハラ、マミチャジナイ、ツグミ、ヤブサメ、ウグイス、メボソムシクイ、キビタキ、オオルリ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、ホオジロ、クロジ、アトリ、マヒワ、ウソ、カケス、ホシガラス、ハシブトガラス。

剣山は、国定公園であり、国および県の鳥獣保護区に指定され、登山路・遊歩道も整備された県内有数の鳥獣生息地であり、観察記録も多い。剣山の西に位置する三嶺の名頃登山口に設置された国設鳥獣保護区の案内看板には、「主な鳥類として、コガラ、ゴジュウカラ、…コノハズク等76種確認」との記載がある。新しい記録では、今回調査員でもある三ツ井の過去10年連続した観察記録がある。これは今回調査範囲を、旧一宇村・旧木屋平村・旧木沢村側にやや拡張した範囲の記録だが72種を確認している。

これらに比べると今回の確認記録50種は少ない数字となっている。しかしながら、今回観察範囲が限定され、水辺環境も含まれないこと、また元々個体数が少なく観察困難な種も多いこと等から、今回1年の観察記録をもって、生息する種類数の減少とまでは言及できない。

2) 旧村の山地森林を代表する野鳥

剣山以外にも、旧村を囲む三嶺、天狗塚、土佐矢筈山、矢筈山、落合峠、烏帽子山、寒峰などでも、回数は少ないながら観察した。これらの山々も山頂部や尾根は丈低い草原・笹原が多く、山腹には落葉



写真2 ミソサザイ 倒木に巣材を運ぶ



写真6 クロジ雄



写真3 コマドリ 巣に餌を運ぶ



写真7 枝先でさえざるジュウイチ



写真4 オオルリ 枝にとまりさえざる



写真8 カッコウ 縄張り争い中枝先にとまり牽制



写真5 アカハラ 登山道で採餌中



写真9 マヒワ 残雪上の餌を求めて飛来

広葉樹や針葉樹の自然林が分布している。これらの環境を代表する種を次に記載する。

(1) カヤクグリ (写真10)

日本特産種で、四国では剣山と石鎚山系^{いしづち}で尾根笹原の低木林で少数繁殖している。今回調査では、6月に牛ノ背のコメツツジが散在する笹原で1例観察した。

(2) ホオアカ

四国では、繁殖期には、高標高にある草丈の余り高くない草原・笹原に生息する。剣山、ジロウギユウ、三嶺、塔丸、落合峠と旧村域で繁殖記録がある。今回調査では、6～8月に落合峠、寒峰、天狗峠、牛ノ背、および小檜曾山^{こびそやま}の尾根笹原でさえずる姿を認めたが、過去に比べ遭遇が減ったように思われる。旧村周辺の尾根の植生が、ススキから笹へ、草丈低い笹原から草丈高い笹原へ、さらには草原から樹林へと遷移^{せんい}が進んできていることも影響していると思われる。

(3) ルリビタキ

剣山の項で言及した種だが、丸石、三嶺、天狗峠、矢筈山では、今回調査でも繁殖期の生息を確認した。

(4) メボソムシクイ

これも剣山の項で言及したが、三嶺、天狗峠、矢筈山では、今回調査でも繁殖期に生息を確認した。

(5) クマタカ (写真11)

クマタカは、日本国内に生息するタカの中で最大の種であり、留鳥として森林に生息し、その森林生態系において食物連鎖の最上位に位置している。旧村でも広い範囲で観察された。今回は繁殖に直結する観察記録はなかったが、過去には営巣や幼鳥などが観察されており、今回も3月には波状飛行などの求愛行動も観察された。また、秋にはサシバあるいはカラスに威嚇追跡される様子も観察された。

(6) ヨタカ

夏鳥として里山から山地森林に渡来し繁殖する。主に夜活動し、上空を飛ぶ昆虫を捕食する。「キョキョキョ…」と連続したさえずりで生息確認されることが多い。かつては普通種とされたが、近年その生息は激減しており、2004年に実施した阿波学会の木沢村調査ではその生息が確認できなかった種である。今回調査では、数回の夜間観察の中で、6月の



写真10 カヤクグリ 枝先にとまって警戒



写真11 クマタカ 谷から舞い上がってきた

深淵^{みぶち}から落合峠でのみ、にぎやかな複数個体のさえずりを確認した。

3. 集落・農耕地の野鳥

2005年12月から2006年3月にかけて、旧村域では雪が多い冬であった。徳島地方気象台による京上^{きょうじょう}の記録では、12～3月には日最低気温が0℃未満の冬日が86日あり、降水量は平年の355.5mmに比べ631mmと多量であった。そのためか野鳥の姿も少なく、3月5日になっても和田、京上、下瀬の集落でピラカンサの実が多量に残っていた。

ツバメ、スズメ、ムクドリ、ドバトは主にヒトの生活空間に近い所を生息域とする野鳥である。農作業や過疎化等との関連で、阿波学会調査において、毎回留意している調査項目である。

徳島県におけるツバメの渡来初認日は、3月上中旬であるが、今回の調査では、4月8日が初認であった。帰巢行動の様態で、菅生や落合の民家軒先の巣の周囲を飛び交っていた。営巣は菅生、久保蔭、京上、新居屋で確認した(写真12)。

同じツバメ科の鳥にコシアカツバメとイワツバメがいる。

ツバメより遅れて渡来するコシアカツバメも、民家の軒下や橋桁の下などに徳利形の巣を作り繁殖するが、近年県内での営巣が激減している。今回調査では、旧役場および周辺の家屋には巣跡が多数残っており、また檜尾ではしっかりした巣も確認したが、鳥の姿を見ることはなかった。

イワツバメは徳島県南では越冬群も観察されるが、当地では夏鳥であり、東祖谷中学校と落合小学校で営巣を確認した（写真13）。東祖谷中学校では、文化祭を「飛燕祭」と名付け長年イワツバメを大切に保護しており、今年も100巣を超える集団繁殖地となっていた。しかし、時にヘビに巣を襲われることもあるとのことで、6月に訪れた時にはピロティの天井角の巣がヘビに襲われ床に落とされていた。

一般に県内で最も普通種とされるスズメだが、今回調査では確認されなかった。阿波学会調査では初めての経験である。スズメは人の生活、特に稲作との関連が窺われる種であり、過疎化が進み、旧村内および近辺でもほとんど稲作が行なわれていない現状の反映であろう。

ムクドリとドバトも観察されなかった。ムクドリについては、1988年の上那賀町調査では記録されているが、2001年の佐那河内村、2003年の美郷村、2004年木沢村でも記録されていない。

4. 水辺環境の野鳥

旧村の水辺環境としては、祖谷川の本支流の溪流とダム湖がある。これら水辺を主な生息環境とする野鳥は、種数、個体数ともに少なかったが、その中で代表的な種について記載する。

ヤマセミは、日本産カワセミ類の中で最大の種であり、豊かな清流の指標となる留鳥である。過去には、旧村内各地で観察されているが、今回調査では、名頃および深淵と、比較的限られた範囲で観察されたのみであり、生息数の減少が推察される。原因としては、「1. はじめに」で記載したような河川状況の中で、採餌環境である魚の生息する淵や、餌となる魚の減少、また、営巣環境である大きな土崖の減少などが想定される。



写真12 ツバメ 軒下の巣に雛



写真13 イワツバメ 軒下で巣作り中



写真14 オシドリ 早朝に湖面を泳ぐ

オシドリ（写真14）は主に冬鳥として渡来し、山間の溪流やダム湖に生息し、カシヤナラのドングリを主食とする小型のカモである。旧村内でも溪流やダム湖で小群が観察された。1999年の神山町および2000年相生町の調査では繁殖が確認されている。今回調査でも、5月に名頃ダム湖で、7月には深淵で複数個体が確認されており、繁殖している可能性が窺われる。

カワウは、近年、日本各地で個体数や生息域を急

速に拡大しつつある種である。今回調査でも、1例だが、深淵の松尾川ダム湖で潜水採餌する1羽を確認した。県内では最高地点での生息記録と思われる。

5. タカの渡り

春に渡来し、日本各地の山林で繁殖した中型のタカハチクマやサシバは、秋になると南の越冬地へ移動する。天候や地形など、飛行に好適な条件を選択する結果、「渡りルート」と呼ばれる、多数のタカが通過する経路が存在する。旧村内でも過去に三嶺や京柱峠で多数のタカの渡りが観察されている。今回も、秋季に、剣山、三嶺、京柱峠、落合峠および棧敷峠で観察したところ、剣山および京柱峠で多数のタカ渡りを記録した。京柱峠では9月30日(6:30~11:54)にサシバ81羽、ハチクマ、ハイタカ、オオタカ各1羽が県境を越えていった(写真15)。剣山では10月8日(11:40~13:10)にサシバ89羽、ハチクマ2羽。10月9日(14:00~17:30)にサシバ152羽が、見ノ越や丸笹山を、東から西へ越えていった。

6. ソウシチョウ

ソウシチョウは本来中国南部、東南アジアからヒマラヤに分布する野鳥である。国内では江戸時代から飼鳥として輸入され飼育されていたが、1980年頃から飼育下から逃れた個体が野外で繁殖するようになり、関東・近畿・九州で生息域を拡大してきた。県内での生息記録はこれまで希であったが、今回調査では剣山で5月と7月に、名頃で10月に2回、群れの生息が確認された(写真16)。本種の生息環境は主に笹藪であり、類似環境に生息するウグイス、コマドリ、コルリとの競合が危惧されている。

7. 野生哺乳類

鳥類調査に伴って観察された哺乳類も記録した。山地森林環境のある町村でのこれまでの阿波学会調査では、10種前後が記録されているが、今回の調査では別表2の7種を確認した。なお、前述の三嶺登山口看板には、「主な獣類として、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、ムササビ、ヤマネ、タヌキ、アナグマ、イノシシ、ニホンジカ、キツネ等15種確認」との記載がある。さらに見ノ越の案内施



写真15 サシバの群れ(タカ柱)



写真16 ソウシチョウ ブッシュの中で枝移り

設には、剣山に生息する哺乳類として展示されている剥製に上記以外にノウサギ、イタチ、テンがあった。

今回観察された哺乳類の中で、観察頻度が高かったのはニホンジカであり、特に祖谷川の南の地域で、姿、鳴き声、生息跡ともに多数が確認された。

8. まとめ

三好市「旧東祖谷山村」において、2005年12月~2006年11月にかけて野鳥生息状況を調査し85種の野鳥を記録した。この種数は、1990年以降に実施した阿波学会調査町村の記録としては、北島町の84種に次ぐ少ない記録であった。これは県内最少面積の北島町に比べ25倍以上と広大な旧村域だが、平地が無く水辺環境も乏しいことの反映と思われる。一方、徳島県で最高標高域にあることから、他地域では観察が希な山地森林性の野鳥が比較的普通に観察され、これは旧村の大きな魅力となっている。徳島県版レッドデータブック記載種も、ミゾゴイ、オシドリ、ミサゴ、ハチクマ、オオタカ、ハイタカ、クマ

タカ、ハヤブサ、ジュウイチ、ヨタカ、ヤマセミ、オオアカゲラ、サンショウタイ、カヤクグリ、コマドリ、ルリビタキ、メボソムシクイ、ホシガラスの18種が記録された。

過去の記録や自然環境から推察して、生息しているであろうと考えられた種で、今回確認されなかった種がある。スズメについては前述した。コノハズクやフクロウ等のフクロウ類は、夜行性のため観察頻度が少なかったことも考えられる。ツミ、カワセミ、エゾムシクイは2005年には記録があるが、もともと当地域では生息数が少ない種である。生息数の減少や、地域における絶滅も危惧されるところであるが、1年の調査でそこまで言及するには無理があり、環境の変化と併せ今後とも観察を継続したい。

9. 目録

2005年12月から2006年11月までの約1年間の観察記録から、種の行動・生息環境などで代表的な記録を、1種について2件までとして「別表1 三好市旧東祖谷山村野鳥目録」に記載した。その内コジュケイとソウシチョウは、日本鳥類目録に従い外来種として区別した。種名の下の方に、左から、西暦年下2桁/月/日、個体数、地名、メッシュ番号、地上標高(m)の順に、さらに次の行に、環境または行動などを記載した。

また、野生哺乳類の記録についても、同様に「別表2 三好市「旧東祖谷山村」獣類目録として記載した。

調査参加者

笠井正, 柴折史昭, 東條秀徳, 中川澄男, 三ツ井政夫, 三宅武, 吉成宏征

写真撮影者

写真1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 9, 10: 三ツ井政夫
写真4, 11, 12, 13, 14, 15: 東條秀徳
写真16: 中川澄男

文献

叶内拓哉・安倍直哉・上田秀雄 (1998): 『山溪ハンディ図鑑7 日本の野鳥』. 山と溪谷社.
環境庁自然保護局野生生物課 (1993): 『日本産野生生物目録—

本邦産野生動植物の種の現状—脊椎動物編』. 自然環境研究センター.

(財)日本野鳥の会愛媛県支部 (1992): 『愛媛の野鳥 観察ハンドブック はばたき』. 愛媛新聞社.

中国四国農政局徳島統計・情報センター (2004): 『徳島農林水産統計年報』. 徳島農林水産統計協会.

東條秀徳 (2000): 神山町の野鳥生息状況. 阿波学会紀要第46号, 45~64頁, 阿波学会・徳島県立図書館.

東條秀徳 (2001): 相生町の野鳥生息状況. 阿波学会紀要第47号, 65~84頁, 阿波学会・徳島県立図書館.

東條秀徳 (2004): 美郷村の野鳥生息状況. 阿波学会紀要第50号, 35~46頁, 阿波学会.

東條秀徳 (2005): 木沢村の野鳥生息状況. 阿波学会紀要第51号, 55~67頁, 阿波学会.

徳島県 (1996): 『徳島県環境資源図 (現存植生・土地利用図)』. 徳島県.

徳島県農林水産部林業振興課・(財)日本野鳥の会徳島県支部: 第1章鳥獣生息分布調査ヤマセミ. 第7次鳥獣保護事業における鳥獣生息状況の調査報告書, 1~7頁, 徳島県農林水産部林業振興課・(財)日本野鳥の会徳島県支部.

徳島県版レッドデータブック掲載種検討委員会 (2001): 『徳島県の絶滅のおそれのある野生生物—徳島県版レッドデータブック』. 徳島県環境生活部環境生活課.

徳島県 (2005): 『徳島県鳥獣保護区等位置図 (平成17年度)』. 徳島県.

日本鳥類目録編集委員会 (2000): 『日本鳥類目録 (改定第6版)』. 日本鳥学会.

日本野鳥の会徳島県支部目録部 (1988): 『徳島県野鳥目録』. 日本野鳥の会徳島県支部.

増谷正幸ほか (1989): 上那賀町の鳥類. 郷土研究発表会紀要第35号, 31~81頁, 阿波学会・徳島県立図書館.

吉田和人 (2002): 佐那河内村の野鳥. 阿波学会紀要第48号, 37~44頁, 阿波学会.

別表1 三好市「旧東祖谷山村」野鳥目録

◎ ペリカン目 PELECANIFORMES

○ ウ科 Phalacrocoracidae

1 カワウ *Phalacrocorax carbo*

06/7/28 1 深淵 7745 880
増水したダム湖で潜水。

◎ コウノトリ目 CICONIIFORMES

○ サギ科 Ardeidae

2 ミゾゴイ *Gorsachius gousagi*

06/9/2 1 深淵川上流 7715 1100
林道脇を歩く。

3 アオサギ *Ardea cinerea*

06/4/9 1 新居屋 6721 500
川より飛び立つ。
06/7/17 2 深淵 7745 900
ダム湖岸尾根のマツの枝に別々にとまっていた。

◎ カモ目 ANSERIFORMES

○ カモ科 Anatidae

- 4 オシドリ *Aix galericulata*
06/5/5 3 名頃 6012 940
雄, 雌1。ダム湖を泳いで移動。快晴, 8:00。
06/7/17 2 深淵 7745 880
早朝の湖面を泳いでいたが, 下流へ飛去。
- 5 マガモ *Anas platyrhynchos*
06/2/5 8 深淵 7745 880
ダム湖水面から飛び立ち下流へ飛去。
06/3/20 4 深淵 7745 880

◎ タカ目 FALCONIFORMES

○ タカ科 Accipitridae

- 6 ミサゴ *Pandion haliaetus*
05/7/17 1 深淵 7745 880
曇り空の下, ダム湖上空高く飛ぶ。
- 7 ハチクマ *Pernis apivorus*
06/9/23 1 天狗峠 5796 1800
南で帆翔後, 高空を西へ飛去。
06/9/30 1 京柱峠 5689 1130
北尾根上空を東から西へ渡り飛行。
- 8 トビ *Milvus migrans*
06/4/8 2 見ノ越 6037 1450
車道に降りて採餌。
06/10/14 1 名頃 6012 940
ダム湖の水面上を飛翔。
- 9 オオタカ *Accipiter gentilis*
06/9/30 1 京柱峠 5689 1130
北尾根上空を西へ飛行。
- 10 ハイタカ *Accipiter nisus*
06/9/30 1 京柱峠 5689 1130
上空を北から南へ飛行。
06/10/13 1 落合峠 6795 1550
東へ飛行。
- 11 ノスリ *Buteo buteo*
06/4/8 1 見ノ越西 6036 1220
尾根の北に飛去。
06/5/5 1 落合峠 (落合ハゲ) 6795 1683
東へ飛行。
- 12 サシバ *Butastur indicus*
06/9/23 1 菅生 6717 1120
鳴きながらクマタカに威嚇飛行。
06/10/9 152 剣山 6027
20羽前後の集団で西へ渡り。
- 13 クマタカ *Spizaetus nipalensis*
06/3/5 1 和田 6740 1000
上空でディスプレイ飛行。
06/9/23 1 菅生 6717 1120
杉林から飛び立ち帆翔中にサシバに威嚇される。
- ハヤブサ科 Falconidae
- 14 ハヤブサ *Falco peregrinus*
06/9/30 1 京柱峠 5689 1130
上空高く飛行。

◎ キジ目 GALLIFORMES

○ キジ科 Phasianidae

- 15 ヤマドリ *Syrnaticus soemmerringii*
06/4/8 1 剣山 6037 1600
雄, 登山道の近くをゆっくり移動。
06/4/9 1 深淵 7755 940
道路沿いにいたが, 谷向かいの山林に飛去。

◎ ハト目 COLUMBIFORMES

○ ハト科 Columbidae

- 16 キジバト *Streptopelia orientalis*
06/4/9 1 深淵 7745 880
大神社のスギの頂にとまっていた。
06/10/28 2 名頃 6012 940
木の枝から飛び去った。
- 17 アオバト *Sphenurus sieboldii*
06/8/26 4 見ノ越 6037 1450
大木に飛来。
06/9/30 3 京柱峠 5689 1130
上空を飛行。

◎ カッコウ目 CUCULIFORMES

○ カッコウ科 Cuculidae

- 18 ジュウイチ *Cuculus fugax*
06/5/4 1 名頃 6012 910
晴れた未明に鳴き声。
06/6/3 1 深淵 7735 940
夕方から夜に鳴き声。
- 19 カッコウ *Cuculus canorus*
06/5/25 2 剣山 6027 1770
争う。
06/6/4 2+ 落合峠 6795 1520
鳴きながら飛び交う。
- 20 ツツドリ *Cuculus saturatus*
06/5/4 1 名頃 6012 910
晴れた未明に鳴き声。
06/5/21 1 剣山 6027 1780
午後に鳴き声。
- 21 ホトトギス *Cuculus poliocephalus*
06/5/21 1 剣山 6027 1790
午後に鳴き声。
06/6/4 3+ 落合峠 1520 6795
ツガの梢に止まったり, 藪に飛び込んだり。

◎ ヨタカ目 CAPRIMULGIFORMES

○ ヨタカ科 Caprimulgidae

- 22 ヨタカ *Caprimulgus indicus*
06/6/3 2+ 深淵 7735 940
夕方から大きな鳴き声。

◎ アマツバメ目 APODIFORMES

○ アマツバメ科 Apodidae

- 23 アマツバメ *Apus pacificus*
06/6/11 1 丸石の東尾根 6005 1600

南東から北東へ尾根上空を飛行。					ダムの中の砂地で歩いてた。			
06/8/12	4	ジロウギユウ	6007	1900	33	ハクセキレイ <i>Motacilla alba</i>		
上空飛行。					06/10/13	2	落合峠	6795 1550
								渡りと思われる。南へ飛去。
◎ ブッポウソウ目 CORACIIFORMES					34	セグロセキレイ <i>Motacilla grandis</i>		
○ カワセミ科 Alcedinidae					05/12/29	1	菅生	6749 700
24 ヤマセミ <i>Ceryle lugubris</i>								谷川の浅瀬に。
06/3/20	2	深淵	7745	900	06/6/3	1	白井堰	6030 800
崖に巣作り中。								水中を歩いてた。
06/4/8	2	名頃	6012	940	35	ビンズイ <i>Anthus hodgsoni</i>		
ダム湖の水面上空を低く飛ぶ。					06/5/21	1	剣山	6027
25 アカショウビン <i>Halcyon pileata</i>								快晴。
06/6/19	1	見ノ越	6037	1450	06/7/15	1	剣山	6027
駐車場の下からさえずり声。								晴れ。さえずり声。
					○ サンショウクイ科 Campephagidae			
◎ キツツキ目 PICIFORMES					36	サンショウクイ <i>Percrocotus divaricatus</i>		
○ キツツキ科 Picidae					06/9/30	1	京柱峠	5689 1130
26 アオゲラ <i>Picus awokera</i>								上空を東から西へ県境越え。
06/4/6	1	見ノ越	6037	1450	○ ヒヨドリ科 Pycnonotidae			
枯れ木にとまったが、すぐに裏側に移動。					37	ヒヨドリ <i>Hypsipetes amaurotis</i>		
06/5/3	2	落合峠	7705	1300	06/9/30	84	京柱峠	5689 1130
ブナ林								渡り。8羽、6羽、70羽の3群。
27 オオアカゲラ <i>Dendrocopos leucotos</i>					06/10/22	5	深淵	7745 880
06/5/21	2	剣山	6037					神社の木に1羽、対岸スギ林に4羽。よく鳴く。
2羽が争う。					○ モズ科 Laniidae			
06/6/3	1	天狗塚	6706	1500	38	モズ <i>Lanius bucephalus</i>		
ダケカンバやブナの林の尾根。					06/6/4	1	深淵	7735 940
28 コゲラ <i>Dendrocopos kizuki</i>								若鳥、電線にとまっていた。
06/1/9	1	和田	6730	490	06/6/11	1	剣山	6027 1780
川沿いのスギ、カシ、ケヤキ林。								雄、枯れ木の先にとまっていた。
06/8/13	2	見ノ越	6037	1450	○ カワガラス科 Cinclidae			
サクラの幹をつつきながら移動。					39	カワガラス <i>Cinclus pallasii</i>		
					06/4/9	1	深淵いちのせ橋	7745 900
								深淵川の岩の上で尾をピンと立ててとまる。
◎ スズメ目 PASSERIFORMES					06/8/5	1	名頃	6013 1000
○ ヒバリ科 Alaudidae								谷を下流へ飛去。
29 ヒバリ <i>Alauda arvensis</i>					○ ミソサザイ科 Troglodytidae			
06/10/13	1	落合峠	6795	1550	40	ミソサザイ <i>Troglodytes troglodytes</i>		
渡りと思われる。南へ飛去。					06/4/9	1	深淵	7735 940
○ ツバメ科 Hirundinidae								尾を立ててさえずる。
30 ツバメ <i>Hirundo rustica</i>					06/6/6	3	剣山	6027
06/4/9	3	新居屋	6721	500				倒木したに営巣。
店の前で飛び回っていた。					○ イワヒバリ科 Prunellidae			
06/6/3	3	菅生	6749	700	41	カヤクグリ <i>Prunella collaris</i>		
2巣に雛、1巣は抱卵中。					06/4/6	1	見ノ越	6037 1450
31 イワツバメ <i>Delichon urbica</i>								さえずり。低木にとまり警戒。
06/6/4	110	下瀬	6743	550	06/6/3	1	牛ノ背	5794 1750
中学校校舎に営巣。ヘビに落とされた巣も1巣。								コメツツジが散在する笹原の中でさえずり。
06/6/4	10	落合	6745	580	○ ツグミ科 Turdidae			
小学校校舎に営巣。					42	コマドリ <i>Erithacus akahige</i>		
○ セキレイ科 Motacillidae					06/6/12	2	剣山	6027 1750
32 キセキレイ <i>Motacilla cinerea</i>								雄、雌がガガンボや小昆虫を運ぶ。
06/6/4	2	深淵	7745	1050	06/9/2	1	矢筈山	7706 1600
雄、雌。バンガロー屋根裏に営巣。								幼鳥。
06/8/5	2	名頃	6012	940				

- 43 コルリ *Luscinia cyane* 06/5/1 4+ 見ノ越 4037 1450
06/6/11 1 丸石谷 6013 1070
雌, 笹が生えた薄暗い林床を鳴きながら移動。
- 44 ルリビタキ *Tarsiger cyanurus* 06/3/11 1 深淵 7745 880
大神社社叢端の小木にとまりよく鳴いていた。
06/6/11 1 丸石 6005 1600
雌, 尾根で枝移り。
- 45 ジョウビタキ *Phoenicurus auroreus* 06/3/5 1 佐野 6760 720
雄, 道端のブロックの上にとまっていた。
06/3/11 1 深淵 7745 880
雄, ダム湖畔ヤナギにとまっていた。
- 46 ノビタキ *Saxicola torquata* 06/4/9 1 深淵 7745 880
雌夏羽, ダム湖畔のネコヤナギにとまっていた。
06/10/13 2 落合峠 6795 1550
- 47 トラツグミ *Zoothera dauma* 06/5/20 1 剣山 6027
登山道で採餌。
06/11/5 1 三嶺 5090 1190
原生林の中, 谷を渡り飛ぶ。
- 48 マミジロ *Turdus sibiricus* 06/9/30 4+ 剣山 6027 1800
オオカメノキの実を食す。
06/10/9 4+ 剣山 6027 1750
- 49 クロツグミ *Turdus cardis* 06/6/4 1 深淵 7745 1000
雄, 早朝に尾根の枝先で囀る。
06/7/16 1 名頃 6012 940
下草の中で鳴いていた。
- 50 アカハラ *Turdus chrysolaus* 06/5/1 1 剣山 6027 1730
雄, 水場の枯れ木にとまる。
06/9/30 1 剣山 6027 1750
若鳥。登山道脇の小枝にとまる。
- 51 シロハラ *Turdus pallidus* 06/11/12 1 丸石パークランド 6023 1010
アキグミの赤い実を採餌。
- 52 マミチャジナイ *Turdus obscurus* 06/10/8 1 落合峠 6795 1480
シリーッと鳴いて木の枝に飛来。
06/10/9 2 剣山 6027 1750
グミに集まる。
- 53 ツグミ *Turdus naumanni* 06/4/6 7+ 見ノ越 6037 1450
枝にとまってぐぜる。
06/11/5 15+ 三嶺林道 6001 1250
ミズナラ林の梢に。
- ウグイス科 *Sylviidae*
- 54 ヤブサメ *Urosphena squameiceps* 06/5/4 2 三嶺林道 6011 1000
早朝にさえずり声。
- 06/6/11 4 丸石谷 6004 1220
幼鳥, 下層植生が笹の混交林から飛び立ち移動。
- 55 ウグイス *Cettia diphone* 06/1/29 1 下瀬 6743 550
墓地のシキミ立木で枝移り。
06/3/20 3 深淵 7745 900
さえずり声。
- 56 シマセンニュウ *Locustella ochotensis* 06/6/4 1 深淵 7745 880
川沿いのブッシュの中でさえずる。
- 57 メボソムシクイ *Phylloscopus borealis* 06/6/11 1 剣山 6027 1870
虫をくわえナナカマドの枝にとまっていた。
06/7/17 2+ 矢筈山 7708 1800
モミの生えた尾根混交林でさえずり声。
- 58 センダイムシクイ *Phylloscopus coronatus* 06/5/4 1 三嶺林道 6011 950
広葉樹二次林で, 早朝にさえずり声。
06/7/30 2 名頃ダム 6012 960
葉の陰でさえずる。
- 59 キクイタダキ *Regulus regulus* 06/2/5 1 深淵 7745 900
車道沿いの杉にカラ類と混群。
06/2/18 1 寒峰 6753 870
スギ林。スギの高枝を鳴きながら枝移り。
- ヒタキ科 *Muscicapidae*
- 60 キビタキ *Ficedula narcissina* 06/6/11 1 丸石谷 6004 1300
雄, 混交林尾根。
06/6/14 2 剣山 6037 1550
樹洞に餌を運ぶ。
- 61 オオルリ *Cyanoptila cyanomelana* 06/4/9 1 竜宮崖公園対岸 6720 500
雄, 木の梢にとまる。
06/5/4 2 白髪山登山道 5090 1230
雄2羽が, ハンノキ林で争っていた。
- 62 エゾビタキ *Muscicapa griseisticta* 06/9/30 1 京柱峠 5689 1130
電話の中継アンテナにとまる。
- カササギヒタキ科 *Monarchidae*
- 63 サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata* 06/7/30 1 深淵 7755 920
谷川沿いの落葉広葉樹の枝にとまっていた。
- エナガ科 *Aegithalidae*
- 64 エナガ *Aegithalos caudatus* 06/1/29 3 霧谷口 6759 770
日が当たり始めた落葉樹林でカラ類混群で餌探し。
06/4/9 2 深淵 7735 940
数本の倒木で採餌。
- シジユウカラ科 *Paridae*
- 65 コガラ *Parus montanus* 06/7/30 1 落合峠 6795 1480
水浴する。
06/8/13 23 見ノ越 6037 1450

		群れになって枝から枝へ移動。			
66	ヒガラ <i>Parus ater</i>	06/7/17 2+ 矢筈山登山道	7707	1630	
		モミ林。カラ類若鳥混群。			
		06/7/16 15 名頃	6013	1000	
		混群となって木の枝を移動。			
67	ヤマガラ <i>Parus varius</i>	06/1/29 3 霧谷口	6759	770	
		日が当たり始めた落葉樹林でカラ類混群で餌探し。			
		06/4/16 2 見ノ越	6046	1450	
		採餌しながら移動。カメラレンズにとまる。			
68	シジュウカラ <i>Parus major</i>	06/8/26 1 小檜曾山	5679	1210	
		幼鳥。スギ林の尾根の広葉樹で枝移り。			
		06/8/26 20 見ノ越	6037	1450	
		混群で枝から枝へ移動。			
○	ゴジュウカラ科 <i>Sittidae</i>				
69	ゴジュウカラ <i>Sitta europaea</i>	06/7/17 2 矢筈山登山道	7706	1600	
		尾根のモミ混交林。枯れ木で餌探し。			
		06/8/25 5 見ノ越	6037	1450	
		混群で枝から枝へ移動。			
○	メジロ科 <i>Zosteropidae</i>				
70	メジロ <i>Zosterops japonicus</i>	06/4/9 1 新居屋	6721	500	
		ウメの花にとまっていた。			
		06/9/23 1 菅生蔭	6738	800	
		広葉樹二次林。			
○	ホオジロ科 <i>Emberizidae</i>				
71	ホオジロ <i>Emberiza cioides</i>	05/12/29 2 菅生蔭	6748	780	
		積雪のある枯れた草地。			
		06/7/17 1 巣 棧敷峠	7765	990	
		道沿いの草地で営巣。			
72	ホオアカ <i>Emberiza fucata</i>	06/6/3 1 牛ノ背	5795	1750	
		笹原の中の岩の上で囀る。			
		06/6/4 1 落合峠	6795	1520	
		峠の笹原。			
73	カシラダカ <i>Emberiza rustica</i>	06/2/3 10+ 深淵	7745	880	
74	ミヤマホオジロ <i>Emberiza elegans</i>	06/11/4 1+ 栂峰	6711	780	
		雌。道端の水路から飛び発ちブッシュへ隠れる。			
		06/11/18 2 高野	6668	790	
		雄。森林伐採後の切り株やタラノキにとまる。			
75	アオジ <i>Emberiza spodocephala</i>	06/1/29 1 平	6659	450	
		雄。車道沿いのスギ、コナラ混交林の林床。			
76	クロジ <i>Emberiza variabilis</i>	06/8/12 2 剣山	6027	1770	
		雄1若1。下層植生が笹の疎林。			
		06/10/9 2+ 剣山	6027	1750	
	○ アトリ科 <i>Fringillidae</i>				
77	アトリ <i>Fringilla montifringilla</i>	06/2/5 150+ 深淵	7745	950	
		スギ林の梢に群れ。			
		06/4/9 45+ 深淵	7755	930	
		落葉樹数本に群れてとまっていた。			
78	カワラヒワ <i>Carduelis sinica</i>	05/12/29 20+ 菅生蔭	6738	780	
		いやしの郷周辺のナラの梢にとまっていた。			
		06/4/29 1 新居屋	6721	500	
		電線にとまっていた。			
79	マヒワ <i>Carduelis spinus</i>	06/2/5 150+ 深淵	7745	900	
		カラマツの梢でにぎやか。			
		06/6/12 6 剣山	6027	1750	
		ダケカンバの新芽を啄ばむ。			
80	ウソ <i>Pyrrhula pyllhula</i>	06/4/8 7+ 剣山	6037	1600	
		コメツガ林の林床に降りる。			
		06/4/16 3 剣山	6027		
		登山道で採餌。			
81	イカル <i>Eophona personata</i>	06/11/5 50+ 三嶺	5080	1320	
		カツラなど大木の多い谷の樹上や地上に。			
		06/11/18 6 高野	6668	790	
		森林伐採後の地上や広葉樹から飛び立つ。			
○	カラス科 <i>Corvidae</i>				
82	カケス <i>Garrulus glandarius</i>	06/3/11 8 深淵	7745	880	
		2羽は社叢の高い木にとまり、周辺に6羽。			
		06/8/26 2 見ノ越	6037	1450	
		モミの枝をつついていた。			
83	ホシガラス <i>Nucifraga caryocatactes</i>	06/10/9 1 剣山	6027	1750	
		ガーガーと鳴いて頭上を数回飛ぶ。			
84	ハシボソガラス <i>Corvus corone</i>	05/12/29 2 菅生蔭	6748	780	
		電線にとまっていた。			
		06/1/21 6 名頃	6021	940	
		木の枝にとまって鳴いていた。			
85	ハシブトガラス <i>Corvus macrorhynchos</i>	06/3/21 6 和田	6740	460	
		木の枝にとまって鳴いていた。			
		06/5/2 30+ 名頃	6011	930	
		イノシシ牧場周辺の山林に。			
	(外来種)				
◎	キジ目 <i>GALLIFORMES</i>				
○	キジ科 <i>Phasianidae</i>				
	コジュケイ <i>Bambusicola thoracica</i>	06/3/21 1 和田	6730	460	
		対岸で鳴き声。			
		06/6/4 1 深淵	7735	940	
		大きな鳴き声。			

- ◎ スズメ目 PASSERIFORMES
- チメドリ科 Timaliidae
- ソウシチョウ *Leiothrix lutea*
- 06/7/15 2 剣山 6037 1500
- 06/10/28 10± 名頃 6013 1000
- 谷沿い崖の低い雑木を鳴きながら枝移り。

別表2 三好市「旧東祖谷山村」獣類目録

- 1 ヒミズ (モグラ目 (食虫目) モグラ科)
- 06/8/12 1 剣山
- 登山道に死体。
- 2 ニホンザル (サル目 (霊長目) オナガザル科)
- 06/1/9 5 京上 6732 530
- 国道沿いの斜面コンクリート壁を移動。
- 06/1/9 10+ 尾尻 6721 500
- 積雪のスギ林に親子連れ。
- 3 ノウサギ (ウサギ目ウサギ科)
- 06/5/3 1 見ノ越 6037 1380

- 20:35, 快晴。国道沿い。
- 06/9/30 1 久保 6737 610
- AM5:19, 集落の東の国道。
- 4 ニホンリス (ネズミ目 (齧歯目) リス科)
- 06/9/23 1 菅生 6729 1220
- スギ植林地内の登山道を歩く。
- 06/9/30 1 檜尾 5799 900
- 広葉樹林内の車道を走る。
- 5 アナグマ (ネコ目 (食肉目) イタチ科)
- 06/5/31 1 剣山
- 広葉樹林林床を歩く。
- 6 ニホンジカ (ウシ目 (偶蹄目) シカ科)
- 06/5/3 1 見ノ越 6037 1290
- 20:38, 快晴。国道沿い。
- 06/5/4 3 三嶺 6000 1330
- 広葉樹林内の登山道。
- 7 ニホンカモシカ (ウシ目 (偶蹄目) ウシ科)
- 06/4/8 1 見ノ越 6037 1370
- AM6:32, 国道沿い。